

**学区災害対策本部
行動マニュアル説明ガイド**

2023年6月27日

この資料は「六ツ美南部学区災害対策本部行動マニュアル」（以下行動マニュアルという）の説明者向けに説明のポイントを明示したものである。

1. 六ツ美南部学区防災活動経緯

*平成28年度（2016）「まちづくり協議会（ビジョン委員会）」活動

- ・総代が1～2年で交代するため継続的な議論ができない、学区全体を考える委員会を設立
- ・「岡崎市地域協議推進事業補助金」を活用
- ・学区として何が必要か、有るべき姿（中長期テーマ）を議論
- ・中長期テーマについて要望を協議会でまとめ、総代会長より市へ要望
- ・総代会、社教委員会の意見で次年度から「災害に強い町づくり」を目指すことに決定

*平成29年度（2017）「災害に強い町づくり委員会」活動

- ・震災・水害時の対応項目と平常時の対応項目を抽出
- ・六ツ美南部学区の震災・水害時の被害想定をまとめる

*平成30年度（2018）「災害に強い町づくり委員会」活動

- ・防災ガイドブック：「全世帯・事業所配布用」（橙色の表紙）の作成・配布
- ・防災ガイドブック：「各町防災関係者用」（緑色の表紙）の作成・配布
- ・学区内事業所と防災についての協定締結

*令和元年度（2019）「災害に強い町づくり委員会」活動

- ・「行動マニュアル」の骨子を作成
- ・モデル町で「災害時（防ぎよ隊）行動マニュアル」の作成・配布
- ・モデル町：境、後屋敷、八幡、上側、正名二軒屋、中村
- ・モデル町を参考にモデル町以外の7町で「災害時（防ぎよ隊）行動マニュアル」の作成準備

*令和2年度（2020）災害に強い町づくり委員会

- ・「六ツ美南部学区災害対策本部行動マニュアル」の作成・各町配布
- ・モデル町以外の6町で「災害時（防ぎよ隊）行動マニュアル」の作成・配布
- ・モデル町以外の6町：小園、高畑、本町、安藤、定国、国正
- ・新町は2020年度に作成準備を行い、2023年度に作成・配布
- ・正名新町と上側新町はマンション管理組合で取り決めがある。

*令和3年度（2021）防災委員会

- ・総代会の下部組織として、新たに防災委員会を設置し、組織改編
- ・婦人自主防災クラブ、消防団、女性部が新たに参画
- ・「行動マニュアル」を検証するために、防災訓練を計画・実施
- ・「行動マニュアル」の改善点を抽出
- ・災害対策本部用の備品購入・整備

*令和4年度（2022）防災委員会

- ・「行動マニュアル」を検証するために、防災訓練を計画・実施
- ・「行動マニュアル」の改善点を抽出
- ・災害対策本部用の備品購入・整備

2. 六ツ美南部学区防災関連資料

- ・防災ガイドブック：「全世帯・事業所配布用」（橙色の表紙）
各家庭向けの防災マニュアル（自助）
- ・防災ガイドブック：「各町防災関係者用」（緑色の表紙）
各町災害防ぎよ隊向けの基本行動マニュアル（共助）
- ・六ツ美南部学区災害対策本部行動マニュアル
- ・各町災害時行動マニュアル
- ・各町防災マップ

3. 岡崎市の関連マニュアル・文献

わが家の防災ミーティング・シート
災害危険度判定調査結果報告書 2015

自主防災組織による訓練等マニュアル 2021
自主防災組織活動マニュアル
小学校区別防災カルテ 六ツ美南部小学校区 2015
水害対応ガイドブック 2020
地域防災計画Ⅰ(地震編) 2019
地域防災計画Ⅱ(風水害編) 2019
地域防災計画Ⅲ(附属資料) 2019
地区防災計画策定マニュアル 2019
地震対策アクションプラン 2018
南海トラフ地震被害予測調査報告書 2015
避難所運営マニュアル(地域版) 2021
避難所運営委員会の業務
避難所運営委員会の業務 リーフレット集
避難所運営委員会の業務 様式集
防災ガイドブック 2015
矢作川避難計画 2021

4. 東京都関連マニュアル・文献

東京防災 2019
東京くらし防災 2018

5. 参考事例

* 東日本大震災(2011年3月11日、マグニチュード9.0)

- ・最大震度7.0
- ・死者：15,467人、行方不明者：7,482人、負傷者：5,388人、救出総数：26,707人
- ・全壊家屋：103,981棟、半壊家屋：96,621棟、一部損壊：371,258
- ・自衛隊派遣：107,000人、警察庁緊急援助隊：51,600人、消防庁緊急消防援助隊：28,620人
- ・海上保安庁：1,792人、巡視船艇等5,284艇、航空機1,869機
- ・米軍支援：人員最大24,000人、艦船24隻、航空機189機

* 阪神・淡路大震災(1995年1月17日、マグニチュード7.3)

- ・最大震度7.0
- ・死者：6,434人、負傷者：43,792人(重傷者10,683人)、火災による死者：400人以上
- 全壊家屋：105,000棟、半壊家屋：144,000棟
- 水道断水：約130万戸、ガス停止：約86万戸、停電：約260万戸、電話不通：約30万戸
- ・公助(救急車、消防車・・・)は機能しなかった。閉じ込められた人の95%が家族・近隣住民に救出された
- ・自衛隊への派遣要請が遅れた(神戸市長：各町からの被害報告がなかった)
- ・淡路島では「共助」により死者0

* 鬼怒川(きぬがわ)決壊(2015年9月10日)

- ・常総市(じょうそうし)三坂町で堤防決壊、若宮戸(わかみやど)など7か所で溢水
- ・床下浸水3,385件、床上浸水168件、全壊54件、大規模半壊1,649件、半壊3,574件
- ・常総市の人口63,000人の内約4,000人が孤立
- ・公助は機能せず自衛隊による救出。ヘリコプター救助：1,339人、地上部隊救助：2,919人

6. 参考情報

* 岡崎市防災課

- ・広域災害(南海トラフ地震、東海地震、東南海地震)時には公助が機能しないことを認めた。
- ・7日間は自助・共助で生き延びて欲しい
(2022年4月1日時点の、人口：384,996人、救急車：15台、消防車(含特殊車両)：34台)
- ・広域災害が起きた場合には、救急車は25,000人に1台、消防車は：11,000人に1台の割合となるため呼んでも来ないと考えられる

- ・過去の災害例から上下水道、電気、電話（固定・携帯）、LPガスなどの普及には4～7日程度かかる

7. 防災ガイドブック：「各町防災関係者用」（緑色の表紙）

*1章 はじめに

- ・広域災害が起きた場合、岡崎市では、救急車は25,000人に1台、消防車は：11,000人に1台（含む特殊車両）の割合となるため呼んでも来ない
- ・災害後7日間は行政の支援はない。救急車、消防車は来ない
- ・一時避難場所と（指定）避難所の意味を理解する。両方とも六ツ美南部小学校であるが、一時避難場所は屋外になる

*2章 被害想定（地震）

- ・六ツ美南部地域の最大震度を6強
- ・六ツ美南部学区建物数：7023棟、昭和56年以前の木造家屋：2155棟（震度6強では倒壊）
- ・死亡者数11人、重傷者数50～105人、建物倒壊1050棟、延焼建物数500棟
- ・延焼危険度5（最大、旧県道43号線沿い）、道路閉塞危険度4～5、消防活動活動困難危険度5
- ・災害時火災を発生させない行動が重要（ガス、電気の遮断）
- ・インフラの普及は過去の災害から想定、4日～14日
- ・南部小学校の収容能力：地震時4,700人（人口11,000人）

*2章 被害想定（水害）

- ・浸水高さ、矢作川：最大5m、広田川：最大2m、安藤川：最大1m
- ・矢作川決壊時は六ツ美南部学区全域が浸水。六ツ美南部小学校の受け入れ人数：210人
- ・岡崎市避難場所：デンソー西尾製作所「教育センター」2F、3F（収容人員140人）

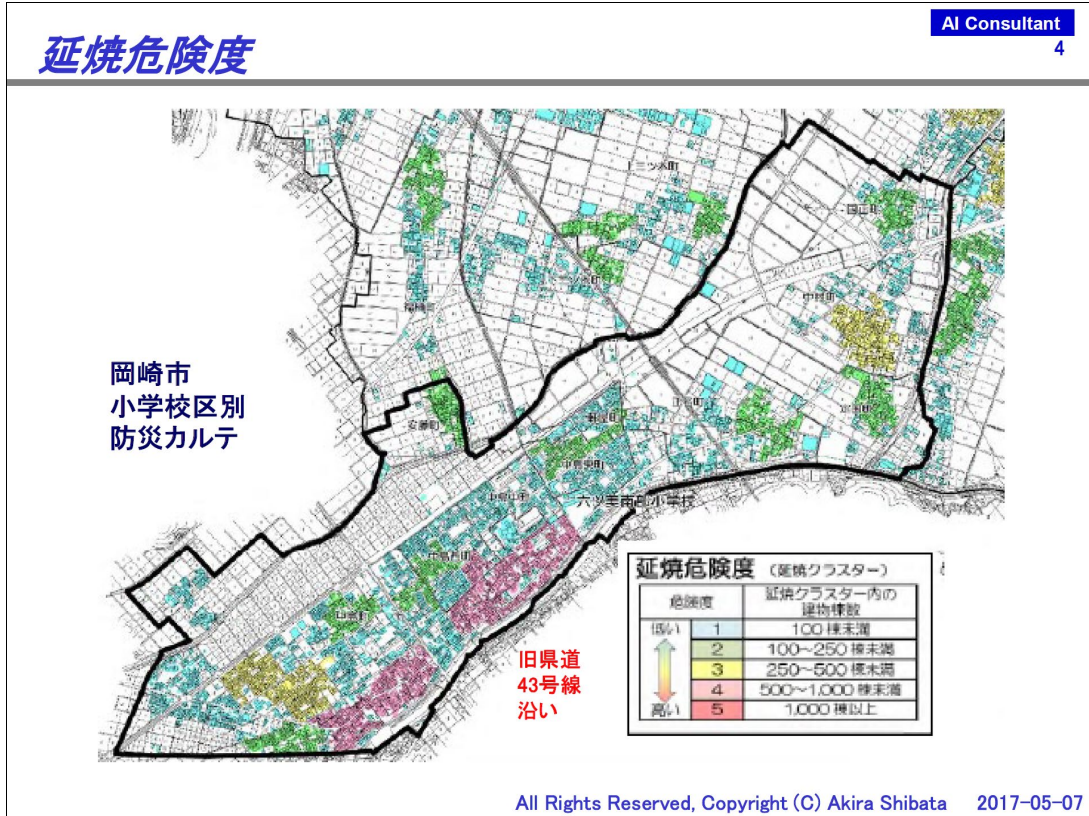
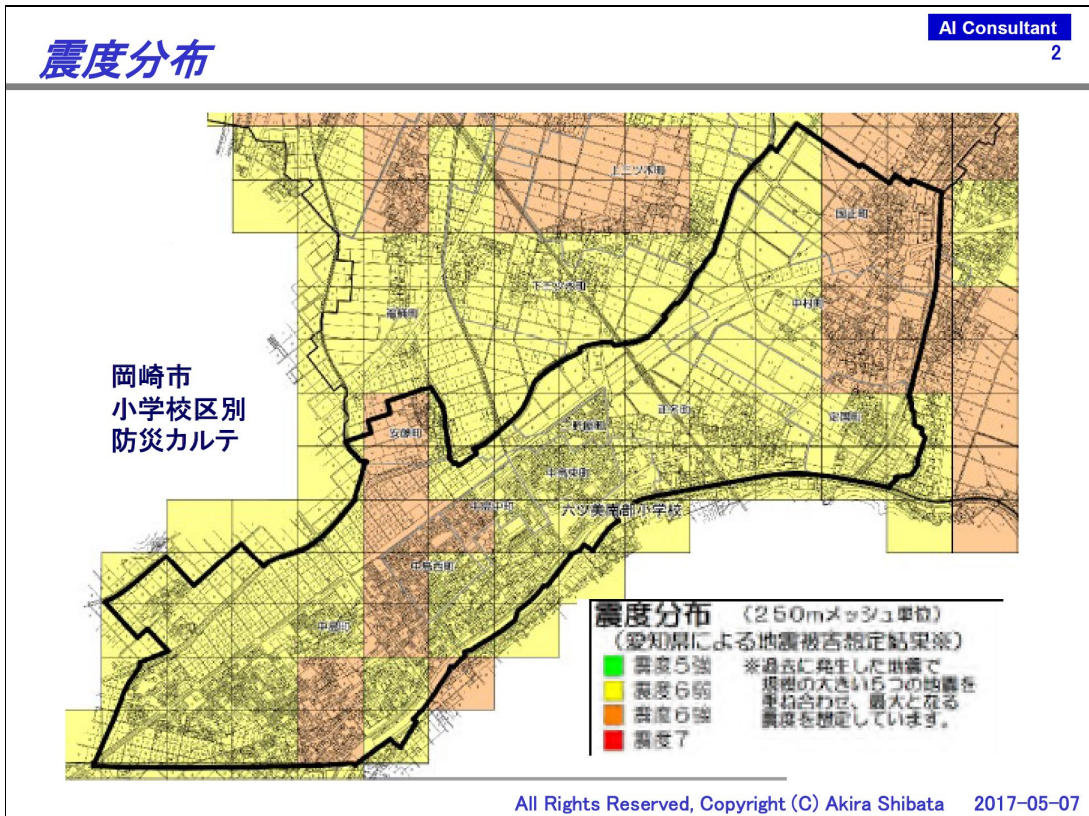
*3章 平常時の準備と行動要領

- ・六ツ美南部学区災害対策本部が六ツ美南部小学校に開設（震度5強以上）
- ・詳細は「六ツ美南部学区学区災害対策本部行動マニュアル」による
- ・総代会4役は学区災害対策本部へ、その他の総代は各町の陣頭指揮に当たる
- ・（指定）避難所が六ツ美南部小学校（屋内）に開設（震度5強以上）
- ・「避難所運営委員会」が設置され、原則、避難者で自主運営
- ・（指定）避難所、体育館：一般、73家族（146人）、8教室：要支援者、妊婦、乳幼児（128人）、校庭：車171台
- ・避難所については、岡崎市の「避難所運営マニュアル」「避難所運営委員会の業務」参照
- ・各町防災マップの全てが小学校への避難指示（本来は自分の家に住めない時）
- ・水害時（矢作川、廣田川決壊）の避難場所指定は高畑（浅井山）のみ

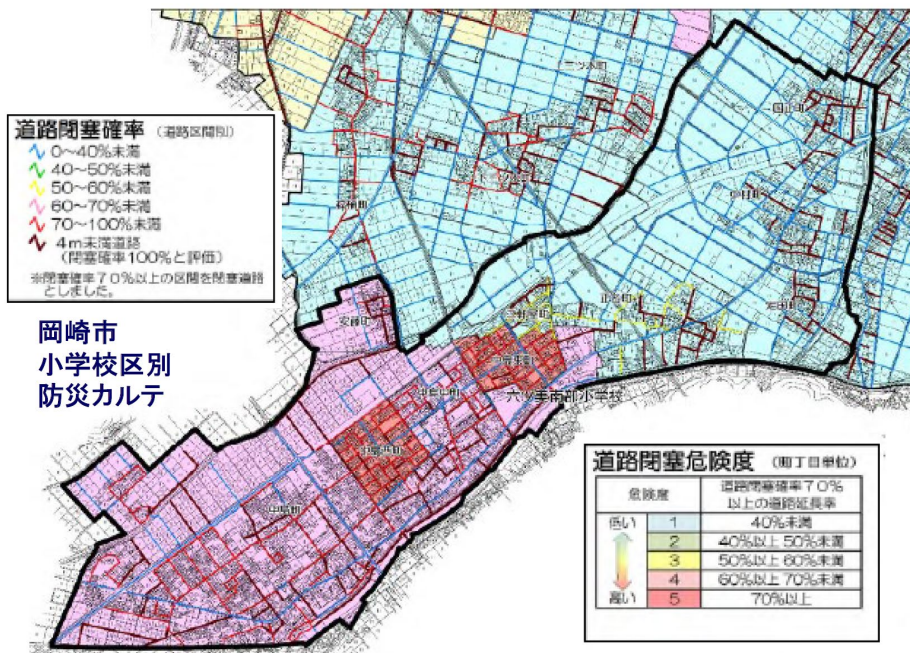
8. 六ツ美南部学区災害対策本部行動マニュアル

| 頁 | 項目 | 説明内容 |
|---|----------|--|
| 2 | 1-2 | この資料の6章、7章参照。防災ガイドブック2-1章参照 |
| | 1-3 | 医療救護所は六ツ美中学校のため、搬送が困難。追加の対応が必要。医院協力、AED（自動体外除細動器）の設置場所増など。被害想定はこの資料の7章参照 |
| | 1-4 | 学区災害対策本部隊員は指揮命令権を有する |
| 3 | 2-1-1 | 本部は救護所班、警防班、救護班から構成される。各町との連携は警防班が行う。避難所係は救護所班に含まれる |
| 4 | 2-1-1 | 本部隊員は、基本的に学区役職の3代前までを対象にする。対象は、総代会4役、社教委員長、福祉委員会委員長、自主防災クラブ部長、小学校PTA会長 |
| 5 | 2-1-1 | 優先作業：消火、閉じ込め者&怪我人救助、被災状況報告 |
| | 2-1-2 | 警防班：情報連絡係、警防係、警戒係、 救護班：避難誘導係、救護・救出係、資材調達係 |
| 6 | 2-1-3(1) | (1-1)、(1-2)救護所班避難所係：避難所開設準備、受け入れ準備 |
| 7 | 2-1-3(1) | (1-3)救護所班避難所係：受け入れ開始（体育館73家族146人） 病人、妊産婦、乳幼児家族、要支援者などの一般教室利用は未決定 |

| | | |
|----|--|---|
| 8 | 2-1-3(1) | (1-4) 避難所運営委員会設置手順 |
| 9 | 2-1-3(1) | (1-5) 避難所運営委員会の組織：委員長、副委員長の役割 |
| 10 | 2-1-3(1) | (1-5) 避難所運営委員会各班の役割：救護班、ボランティア班、衛生班・・・ |
| 11 | 2-1-3(2) | 救護所班救護所係の支援手順：中学校医療救護所、避難所救護班との連携 |
| | 2-1-3(3) | 救護所班児童係の支援手順：児童のみでの避難対応、学校の状況確認 |
| 12 | 2-2 | 風水害時の対応：矢作川決壊時は全町水没のため各自対応になる |
| 13 | 3-1-1 | 平常時の準備⇒震災時の準備⇒本部開設・運用⇒隊長・副隊長の準備 隊員の任期は原則3年 |
| 14 | 3-1-2 | 警防班、救護班の準備：帳票類の作成・印刷・保管 |
| | 3-1-3 | (1) 救護所班避難所係の準備：帳票類の作成・印刷・保管、道具の整備 |
| 15 | 3-1-3 | (1) 救護所班避難所係の準備：帳票類の作成・印刷・保管、道具の整備 避難所運営ゲーム（HUG）の紹介 |
| 16 | 3-1-3 | (1) 救護所班避難所係の準備：避難所運営委員会各班の準備 帳票類の作成・印刷・保管、道具の整備 |
| | | (2) 救護所班救護所係の準備：準備項目はない。避難所運営委員会の救護班との連携が未記載 |
| 17 | 3-1-3 | (3) 救護所班児童係の準備：支援内容の文書化 |
| | 3-2-1 | 風水害時の本部の準備：学区外の施設の利用を市と協議 |
| 18 | 3-3-1 | 防災訓練の実施：本部隊員へのマニュアル説明、本部組織の開設・運用、避難所開設・運用、防災倉庫備品の点検 |
| | 3-3-2 | (1) 防災訓練の中期計画作成：4年単位の訓練計画、4学区合同訓練計画作成 |
| 19 | | 3-3-2 |
| | (2) 詳細計画と調達計画作成：防災備品の点検・更新・購入 (3) 防災訓練後のマニュアル検証・改廃：マニュアル検証・改廃 | |
| 20 | 3-4 | 考え方：PDCAサイクルを回す 防災推進体制：防災委員会を設立、防災訓練の実施、マニュアルの改廃・開示、備品のリストアップ・調達 |



道路閉塞危険度



消防活動困難危険度

